

<b>【教材・教具名】</b> 高さ調節ハードル・玉入れグッズ	<b>【教科・領域】</b> 体育、自立活動
<b>【教材の使用材料】</b> ●ハードル 新聞紙（支柱1本あたり10枚・バー1本あたり5枚） 段ボール、ガムテープ、ペットボトル、 ●玉入れ ペットボトル、ラップの芯、虫取り網、洗濯バサミ	<b>【購入場所】</b> ガムテープ、虫取り網、洗濯バサミ ⇒100円ショップ
<b>【ねらい】</b> 高さを調節し、生徒個々の能力に合わせた活動を行う。また段階的に課題をステップアップする。粗大運動や、体の可動域を広げる目的、また目と手足の協応動作の獲得を目的とする。	
<b>○使用方法</b> ●高さ調節ハードル（左図） 支柱用新聞棒をペットボトルに刺す。バーをかけるパーツの高さを調節し、バーをかける。 ●高さ調節玉入れ（右図） 個々に応じた位置に洗濯バサミを挟み、高さを調節する。	
<b>○工夫した所</b> ・ハードルでは高さの調節ができるように、バーをかけるパーツをスライドできるようにした。また安全面を考え、軽くて柔らかく、折れ曲がる程度の硬さで新聞紙バーを作成した。 ・玉入れでは高さを調節できるように支柱に洗濯バサミを留めた。虫取り網に生徒個々の印を打ち、スムーズに高さ調整ができるようにした。	
<b>○効果</b> ・生徒はハードルの高さを意識して、体を低くしてくぐったり、膝を高く上げてまたいだりすることができるようになってきた。ハードルを倒すことに恐怖感はないようである。できる自信から、動かしにくい方の足でもチャレンジできるようになってきた。 ・玉入れでは、体を最大限伸ばして玉を入れられるようになった。立位、座位、膝立ちなど、さまざまな姿勢で取り組むことができるようになってきた。他の学校生活場面でも高いところに手を伸ばすことが増えた。	
<b>○参考文献・URL</b> 特になし	

教材・教具写真



ハードルくぐり



ハードルまたぎ



玉入れ



高さ調節玉入れ（全体図）